

3学年だより

小平市立小平第二中学校
第3学年 学年だより
第30号
令和5年11月10日(金)

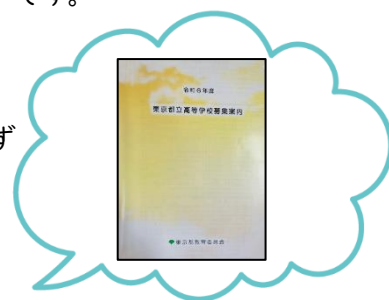
【2学期期末テスト終了】

本日期末テストが終わりました。テストに向けての日々は大変だったと思います。解放された、という気持ちになるかもしれませんが、本番はここからです。これまでは、内申を上げることに一生懸命だったかもしれませんが、もちろん、内申が1つでも2つでも上がることは、選択肢も増え良いことではあります。ただ、都立入試の場合、1,000点満点のうち当日点は700点です。内申の倍以上が当日の点数です。当日、より良い点数をとるためには、実力を付けていくことが大事です。実力とは入試問題でどのくらい点数をとることができるか…です。

入試は来年1月や2月。繰り返しますが、本番はこれからです。

【再掲含】

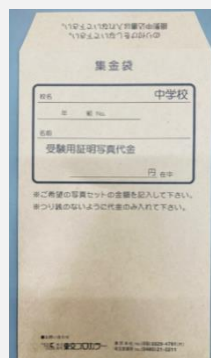
- 11月10日(金)本日面接練習希望調査メ切り日でした。面接練習を希望する人は必ず提出をしてください。
- 11月6日(月) **東京都立高等学校募集案内**を配布しました。都立高校を受検するご予定の皆さんは保護者の方と一緒に中身を熟読してください。出願について、入試について、発表についてなど大事なことが載っています。特に出願についてはインターネット出願となるのでP9~をよく確認しておいてください。
- 11月6日(月) 第4回進路希望調査を配布しました。現在の内申が①上がった②同じだった③下がったの3つのパターンを相談しておいてください。→提出メ切21日(火)
- 11月11日(土) 道徳地区公開講座のため土曜授業です。
1時間目授業 2時間目道徳授業。2時間目終了後学活、下校です。
- 11月13日(月) 土曜授業の振替休業日
- 11月14日(火) 第3回復習確認テスト
- 11月15日(水) 2学年以外は給食学活後下校
- 11月17日(金) 卒業アルバム個人写真、受験写真撮影。出願に必要な写真を撮りますので、髪を切りに行く人は前日までにお願いいたします。



当日撮影時に写真代の支払いをします。必ず1,400円を持ってきてください。忘れると撮ることができません。



←この用紙を配布済です。 封筒は茶色の集金袋です。



- 11月26日(日) ESAT-Jのテストがあります。場所:小平南高校 時間:12時半集合
詳細は生徒用マイページをご覧ください。 終了時刻は16時前後になると思います。

【面接練習】

現在3年生は、入試の面接に向けて面接ガイドや DVD などを利用しながら、作法や受け答えについて練習中です。先日初めての面接練習の授業で DVD を見ました。動画の内容で大事だと思ったことをメモし、最後に感想を書きましたので、いくつかご紹介をします。ご家庭でも一緒に確認をし、可能な範囲で練習をしていただければありがたいです。

～メモより～

- ・言葉遣い(はっきり話す。語尾に「です。ます。」をつける。
- ・わからない時はわからないという。
- ・流行語は使わない。
- ・ノックは2,3回。失礼しますと言って入る。両手でドアを閉める。座る前に礼をする。
- ・おじぎをしてから「ありがとうございました」と言う。
- ・自分の言葉で話す。
- ・細かく説明しすぎない。
- ・ネガティブはダメ
- ・質問が終わるまで答えない。
- ・面接官にわかりやすく「結論→理由」に順番で言う。

～感想より～

- ・自分がこれは大丈夫だと思っていたことでも、意外とやってはいけないうことが多くて、驚きました。その他にも注意すべき細かいポイントがあったので、これを理解し面接以外のことにも役立てていかれるといいなと思いました。
- ・普段から先生や塾の講師の方々のような大人と接する機会が多いので、日頃から練習していきたい。
- ・挨拶のタイミングなど、細かいところまで評価されていると気づくことができた。自信をもってはっきり話すのが大切だと思って。これは何度も練習する必要があると思った。ネガティブにならないことを心掛けたい。
- ・敬語が正しく使えるようにし、予め情報をまとめて自分が固まらないようにしておきたいと思いました。また、発言以外にも行動や身だしなみなども面接のためだけではなく、これから先も大切だから気にしていきたいと思いました。
- ・私はどうしても人前に立って話すことは緊張してうまくしゃべることができないので、これから少しずつ面接の雰囲気慣れていきたいと思っています。また言葉遣いもしっかりしていけるように頑張ります。

・目を見て大きな声で話すのがあまりできないので、そこを改善しないとにも始まらないなと思いました。いろいろな礼儀があって難しかったけれど、これから学んでいきたいと思いました。

・面接をする時、考えていたよりおじぎや挨拶をする回数が多くて驚きました。練習のできることを本番で出し切ることではないと思うので、少しでも多く発揮できるように練習をしていきたいです。日常的に敬語を使っているわけではないので、敬語の使い方について学んでいきたいです。



「楽しかった修学旅行」

B組 星 実依那

私は今回の修学旅行は大成功したと思います。

一つ目の理由は、初めて新幹線に乗って関西に行ったことです。私は今まで新幹線に乗ったことがなく、また初めて関西に行ったため初体験のことがたくさんありました。奈良では、鹿にせんべいをあげたり、東大寺や法隆寺、興福寺に行きました。資料などでみたことのある寺や仏像を実際に見て、精密さや荘厳な作りがはっきり伝わってきました。京都では、平等院鳳凰堂の左右対称な作り、清水寺から見た景色、休憩で食べたソフトクリームなど、一日目の奈良とは違った楽しさがあり、疲れがなくなるほど満喫できました。

二つ目の理由は、迷子になったり怪我をしなかったことです。二日目の京都は班行動でした。そのため、私は迷子になったらどうしようと不安でした。しかし、班員で道を確認しながら移動したため、迷ったり時間に遅れることなく行動できました。また大きな怪我をしなかったので、修学旅行を存分に楽しめて良かったです。

初めてのことが多く、わからなかったり、間違えることもありましたが、班のみんなが楽しんで、最高の修学旅行にすることができました。今回の良かったところ、できなかったり改善したほうがいいところをよく考え、次の合唱コンクールや日々の生活に活かしていきたいです。



「合唱コンを終わて」

B組 轟井 百合子

合唱コンが近づいてくると実感してから当日を迎えるまであっという間だった。合唱コンを本格的に意識し始めたのは夏休み明けの音楽の授業だった。夏休みの間自分のパートの音源を聴いていたけれど他のパートと全体で歌うと、二年生の時までソプラノだったこともあり、課題曲でアルトパートではなくソプラノパートの音を歌ってしまうこともあった。自分のパートを歌えるようになるために授業のパート練習で自分の音をちゃんと歌えるように練習したり、楽譜もよく見直したりした。そのおかげか二週間前には自分のパートの音を他のパートにつられることなく歌えるようになった。

いよいよ当日。合唱コン当日はなぜかあまり緊張はしない。二年生のそれぞれのクラスの合唱、そして学年合唱がすごく良かった。昼食を食べてから本番前最後の練習をした。本番が始まるとどのクラスもリハーサルの合唱より、さらにうまくなっていて聴けて良かったと思えるような合唱を聴けた。

C組の合唱が終わりついにB組の番になった。課題曲、クラス曲ともに授業での練習やリハーサルでの練習など今まで歌ってきたなかで一番合唱を楽しめた。最優秀賞、優秀賞という賞はとれなかったけれど、結果を残すことよりも大切だと思う「楽しむ」ということを達成できたので良かった。中学校生活最後の合唱コンらしいものができると思う。



「修学旅行を終わて」

D組 山代 蒼汰

この修学旅行ではいろいろな力がつきました。その中でも特に成長を感じたのは2つのことです。一つ目は班行動で見学場所をまわっているとき前々から決めていた予定があったのですが、予定よりも一つの見学地に長いたため時間が押してしまい、予定が狂いそうになりました。しかしそんなときでも次のバスや電車の時間を調べて、次の見学地に行ったり、一つの時間が狂うとその後の予定を全て遅らせることになってしまうため、見学地の優先度から低いものを行かないことにして、時間の調節を行いました。また、バスを一本乗り遅れてしまい次のバスが三十分後だったため歩いて駅まで行ってから向かおうとしていた時も、電車の時間も間に合わないかもしれないし、これ以上の混乱を避けるためバス停で待ち、落ち着いて行動ができました。そんな冷静に判断したり社会で通用するような力がつきました。

二つ目は他の人に合わせる力です。修学旅行では一日中ずっとクラスの人といました。家のように好き勝手にできず、互いに相手を思いやりながら過ごして少し疲れたけれど良い経験になりました。

この他にも今回いろいろな力がつきました。大変なことも多かったけれど友達とずっと過ごして普段できないようなこともできて楽しかったです。



「合唱コンクール」

D組 木村 紗良

今回の合唱コンクールは、中学校生活最後の合唱コンクールでした。

私は、中学校生活最後の合唱コンクールこそ賞を獲得できるかできないかではなく、楽しく歌うということを大切に練習してきました。

今回の合唱コンクールで歌ったクラス曲の「正解」は授業で初めて聞いた時、自分を励ましてくれるような歌詞で、このクラスのみんなと一番歌いたいと思えるような曲でした。

この合唱コンクールを通して、成長したと感じた部分があります。それは、クラスで協力することができたことです。去年もクラスで協力し、合唱コンクールを成功させることができましたが、今年は三年生として成功させたいという気持ちが強かったり、一、二年生の手本となるような合唱コンにしたいという気持ちから、各自家でも練習したり失敗したところはクラスのみんなで成功するまで何度も練習するなど、クラス全員で今まで以上に協力しながら練習を進めることができたと感じました。

また、本番前はとても緊張していたけれど、いざ立ってみると、練習の時とは違い、だんだん思いがこみ上がってきて、とても感動しました。

練習を始めた当初は、うまくいかないことがいくつかあったけれど、クラスで練習を重ねるたびに、だんだん良いものに出来上がり、本番で楽しく歌う事ができたので、今回の合唱コンクールも成功したと感じました。



「修学旅行を終えて」

E組 渡邊 沙空

修学旅行は想像していたよりも楽しく、充実したものにすることができました。それは、行動班や実行委員でたくさんの準備をしてきたからこそ、叶ったことだと思います。

時間を過ごしていく中で思うようなことを多く経験することができた気がします。奈良公園で出会った鹿はかわいかったですが、私が鹿せんべいを買った瞬間、目つきが変わりました。もう鹿せんべいは買いません。

一番思い出深かったのは2日目です。特に嵐山ではみたらしだんごを買って食べたのが幸せでした。夜に行けた水族館も、なかなかできない体験で気持ちが高まりました。楽しかったです。

三日目となると、行けた場所が少なくなっていました。おみやげを買ったりと充実した時間を過ごすことができました。

他にも新幹線、バスでの時間や宿、ホテルで過ごした時など、楽しい時間がたくさんありました。行かれないと思っていましたが、行かれて良かったと思います。

今回の修学旅行を通して、当たり前のことではありますが、準備をすることの大切さを強く感じました。実行委員やコース係で学校に居残って作業することが多くあった中、正直帰りたと思う時もありました。けれど、修学旅行を終えた今、頑張ったよかったと思っています。頑張ったからこそ、楽しい修学旅行にすることができたと思います。こでつくれた思い出はずっと心に残ると思います。良い経験ができて、本当に良かったです。



「合唱コンクール」

E組 橋内 友香

私は、今回の合唱コンクールで思い出に残ったことがあります。それはクラスでの合唱です。二学期最初の音楽の授業で指揮、伴奏すべてありで合わせたとき、男女の声や伴奏が合っておらず、一か月後の合唱コンクールに対しても不安になるほどでした。ですが、毎回の音楽の授業でのパート練習や合わせ練習をしていくなかで、少しずつ男女の声も指揮と伴奏、全てが合うようになっていきました。特に音楽以外の時間での合唱練習では実行委員が中心となって進めてくれ、クラスの仲が一番の要因だと思います。また、合唱コンクール一週間前の学年練習では、クラスで最優秀賞を目指す一番のきっかけとなりました。それまで他のクラスの合唱を聴いたことがありませんでしたが、学年練習で他のクラスの合唱を聴き、みんな本気で合唱コンに挑もうという気持ちになりました。その日から、強弱をつけたり、思いをどこで一番強めるかなどを確認しあい、本番に臨むことができました。本番前は前のクラスの合唱が上手だと思って、Eが一番強いということを確認し、本番に臨めました。結果は最優秀賞をとることができ、中学校生活一番の思い出になりました。みんなで団結して歌をつくることが、本当に嬉しかったです。

私は中学校最後の合唱コンで一生の思い出をつくれて本当に良かったです。これからもクラスで団結していきたいです。